

琵琶湖定点定期観測結果速報(令和7年9月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和7年9月16日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



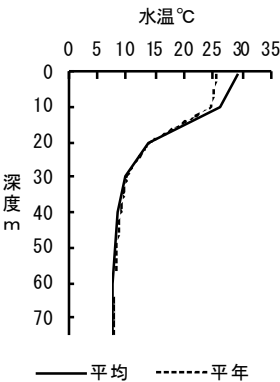
調査地点図

調査結果
平均値 … 5地点の平均値
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値
DO(溶存酸素濃度)は2015年～2024年(平成27年～令和6年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 9月平均値 8.1m 平年値 5.7m

2. 湖水温 (℃)

深度 (m)	9月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	29.3	25.5	+3.8
10	26.1	24.5	+1.6
20	13.8	13.9	-0.1
30	9.6	10.0	-0.4
40	8.4	8.8	-0.4
50	8.0	8.3	-0.3
60	7.7	8.0	-0.3
75	7.5	7.8	-0.3



3. 湖岸水温 (℃)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
8月下旬	30.5	27.5	+3.0
9月上旬	29.9	26.4	+3.5
9月中旬	29.0	25.2	+3.8

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	9月 平均値	平 年 値	平 年 差
			(平均値-平年値)
0～10	12.8	11.3	+1.5
10～20	5.7	3.6	+2.1
20～40	2.0	1.0	+1.0
40～75	0.4	0.4	+0.0

(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、地点Iでは*Auracoseira granulata* (アウラコセイラ:珪藻) が、地点IVでは*Auracoseira granulata*および*Mougeotia sp* (ヒザオリ:緑藻) が細胞数で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、地点I、III、IVではカイアシ類のノープリウス期幼生が、地点IIとVでは*Diaphanosoma sp* (オナガミジンコ:枝角類) が個体数で最も多く認められた。



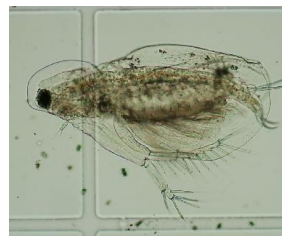
Auracoseira granulata



Mougeotia sp



ノープリウス期幼生



Diaphanosoma sp

6. DO (溶存酸素濃度: mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	9月 平均値		平 年 値		平 年 差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	8.0	104.9	8.0	99.8	0.0	(+5.1)
10	8.4	102.4	8.0	97.4	0.4	(+5.0)
20	7.9	75.6	6.9	67.9	1.0	(+7.7)
30	8.6	75.9	8.5	76.1	0.1	(-0.2)
75	4.2	35.4	4.1	37.5	0.1	(-2.1)